

1 基礎調査修正版（報告）

連番	指摘箇所	指摘事項	対応
1	P18	指標は「粗付加価値額」、下段の説明は「付加価値額」となっており、表現が一致していない。	「粗付加価値額」が正しいため、表現を統一する。
2	P19	下段の説明に「完全失業率、若年層（ここでは15～29歳）の完全失業率」とあるが、上表には若年層の完全失業率しか記載されていない。	若年層の完全失業率のみに記載を修正する。
3	P19.20	20ページの2では、「自市内従業率」と「自市町内従業率」の二つの表現があり、また、19ページには「自市内従業割合」という表現もあり、統一されていない。	「自市内従業割合」が正しいため、表現を統一する。
4	P27	説明で「56.3%から52.8%へと減少」とあるが、上のグラフの割合を足すと、56.3%ではなく56.5%となる。	「56.5%」が正しいため、記載を改める。

2 第5次後期基本計画総括評価シート・第6次新たな基本計画検討シート

連番	指摘箇所	指摘事項	対応
1	第5次後期基本計画総括評価シート	大柱で達成・未達成を記述するのは難しいのではないか。	大柱の記載欄を削除する。
2	第5次後期基本計画総括評価シート	達成状況の基準があいまいで、判断が難しいのではないか。	判断基準が難しいのは理解しているが、外部評価委員会でも達成状況はあった方がよいと意見をいただいている。基準については、「A：極めて順調」、「B：おおむね順調」、「C：やや遅れている」、「D：大幅に遅れている」と評価していただきたい。
3	第5次前期基本計画総括評価シート	前期基本計画の総括として、R1とR2は行っていないがどのように考えているか。	R1とR2の評価（施策評価）はしているので、その結果を含めて前期基本計画の総括として利用したいと考えている。

1 資料全般

連番	指摘箇所	指摘事項	対応
1	関連箇所全般	本市の合計特殊出生率は、県内でみれば高いが、人口置換水準である2.07には遠く及ばないので、「高い」という表現を使わない方がよい。	関連箇所を精査し、表現を検討する。

2 分野別市民懇談会報告書（案）

連番	指摘箇所	指摘事項	対応
1	全般	市民意見全ての反映を求めるものではないが、市民の意見を伺った結果、最終的にどう反映したのかが分かると良い。	市民意見の概要は今後公表するが、反映の仕方や反映箇所の公表の仕方等については今後検討する。

3 人口推計検討資料（案）

連番	指摘箇所	指摘事項	対応
1	全般	全市・長期というマクロ的な視点ではなく、各地域・短期といった、ミクロ的な視点が必要なのではないか。	各地域別の推計は、9つの推計パターンからの絞り込みが完了してから実施する。また、国も長期スパンで人口推計を公表していることを踏まえて、市としてもマクロ的な視点で推計を出したい。なお、急激な社会情勢の変化などがあった際は、その時の趨勢を踏まえながら見直しを検討する。
2	全般	本市の合計特殊出生率は低下傾向にあり、東京都の人口も減っていく中、人口は厳しめに見ておく必要がないか。出生率は現状のまま推移、移動は2040年に均衡とみるのもよいのではないか。	ご意見を踏まえて、他のパターンも検討する。
3	全般	大規模な宅地開発による人口増加（開発人口）を考慮する必要はないか。	各地域別の推計は、9つの推計パターンからの絞り込みが完了してから実施する。また、国も長期スパンで人口推計を公表していることを踏まえて、市としてもマクロ的な視点で推計を出したい。なお、急激な社会情勢の変化などがあった際は、その時の趨勢を踏まえながら見直しを検討する。
4	全般	将来の人口がどうありたいか、という議論が大切なのではないか。	現実的には「出生：低」となるかもしれないが、本市では子育て支援策も行っているため、将来的に出生率を維持するという姿勢を表すため「出生：中」としたい。

4 第6次朝霞市総合計画_基本構想【骨格案】

連番	指摘箇所	指摘事項	対応
1	将来像実現のための共通理念	将来像【ビジョン】、将来像実現のための基本方向、基本構想の推進に向けた政策分野、という流れが分かりやすい。「将来像実現のための共通理念」は削除するか、将来像【ビジョン】に含めたらどうか。	第5次総合計画と同様、将来像【ビジョン】、将来像実現のための基本方向、基本構想の推進に向けた政策分野、将来像実現のための共通理念という構成で検討する。
2	全般	コロナ禍以降、公助への期待が高まっている。コミュニティが希薄化していく中、今一度、みんなでやっていくという観点の強調が必要なのではないか。（複数の委員から指摘）	ご意見を踏まえて検討する。
3	全般	綺麗な文章にしようとしなくて、朝霞らしさが感じられ、市民感覚に近い構想が良いのではないか。	ご意見を踏まえて検討する。

5 第5次朝霞市総合計画後期基本計画 総括評価シート

連番	指摘箇所	指摘事項	対応
1	全般	評価に関する他市事例には、疑問なものも多い。市の取組がどのような成果につながるのか等、ロジックモデルの考え方を取り入れた方がよい。	第5次総合計画の前期・後期を総括することから、後期のみ評価手法を変えることは難しい。第6次総合計画を評価する際の参考としたい。

6 審議会の進め方全般

連番	指摘箇所	指摘事項	対応
1	全般	各地域別のデータなど、基礎資料が不足しているのではないか。	基礎調査への参考図表や財政推計など、今後もお示しできる資料はお示していく。
2	全般	抽象論から議論すべきでない。地域の実情、市民の意見、第5次総合計画の評価等を踏まえ、具体的な課題と方策から計画を組み上げ、議論していくべきではないか。スケジュールの見直しが必要ではないか。	市としては、まずは将来像を描いた上で、現状との間にある課題を埋めるものとして施策を打ち出していきたいと考えている。個別具体的な課題への対応は基本計画、あるいは事業の中でしていくことになるが、基本計画を作り込んでいく中で、基本構想に立ち帰って手直しすることは考えられる。なお、第5次総合計画の総括については外部評価委員会が議論していくことになるので、結果を集約して審議会にお示しする予定である。
3	全般	総合計画の策定過程そのものを、市民参画の場としていくべき。（意見）	ご意見を踏まえて検討する。